

様式 3

平成 2 2 年度 第 1 回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉東高等学校

学校長 名 越 和 範

評 価 日		平成 2 2 年 5 月 2 0 日 (木)	
委 員	氏 名	資格・所属等	委員長
	朝 井 正 教	倉吉市立東中学校長 (中学校)	○
	中 嶋 邦 彦 (欠席)	学校法人藤田学院理事 (前鳥取短期大学教授)	
	松 本 晴 樹	北条中学校 P T A 会長 (地域代表)	
	和 泉 博 伸	倉吉東高育友会監事 (保護者代表)	
	山 崎 一 彰 (欠席)	学校評議員	
	西 原 定 代	学校評議員	
	青 亀 恵 一 (欠席)	学校評議員	
	大 津 昌 克 (欠席)	学校評議員	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等	
<p>1. 前年度の最終評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し。 <p>2. 今年度の評価計画について</p> <p>(1) 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンが素晴らしい。特に「主体的学習者」を目指すというところ。生徒が自ら進んで学習していくというのは難しい目標だが、教師も研究者として進んで研究してほしい。中学校も参考にさせていただきたい。焦点化されたという 5 つの目標が最も大事である。 <p>(2) 目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校文化度の向上の具体的項目に「規律ある生活」や現状の中に「清掃」部分をあげているのはとてもよい。社会に出たとき「整理」、「整頓」、「清掃」の『3 S』が体に入っていないと、うまくいかない。会社では、それにプラスして「清潔」、「躰」、「誠意」を入れ 6 S が必要とされ、これがないと会社自体も発展しない。本来は幼い 		<ul style="list-style-type: none"> ・ここにあげた重点目標は、特に焦点化したものである。平成 1 3 年から取り組んでいる長期ビジョン「倉吉東高のかたち」がねらいどおりに進んでいるのか検証したい。 ・「目指す姿」は管理職で、「現状」と「具体的方策」は各担当が考え、記載している。 	

頃から身につけていくものだが、学校でも目覚めさせていく必要がある。

・進路指導の充実に「生活力」を持ってきているのも大変よい。出口指導ではなく、将来を見据えれば「生活力」は必ず必要である。

・定時制の現状に進路意識が乏しいとあるが、入学前から考えるようインターネットやマスコミを利用してはどうか。

・大学に入れることが目的ではない。倉吉東高で人生に必要な資質を盛り込んで大学に受け渡すということだ。

・有形ではなく、無形なことが大事である。卒業した生徒が鳥取県人として素晴らしいと言ってもらいたいものだ。

・全職員の広報力を高めるとするのはどうやっていくのか。

・来ていただきたい。授業も見させていただいて感想も聞かせていただきたい。

・中学生を東高につれてきたい。東高という名前は知っているが、実際の雰囲気を知らせたい。今年、中高連携のプログラムに応募し、2年生3クラス、日を変えて数学を中心とした授業をお願いしたいと考えている。

・文武両道とある。文の部分の進路に関する数値目標はあるが、部活動や生活指導の数値目標や基準があればよいのではない

・定時制についてこちらから中学校に行き進路について説明することは今までなかった。

・今年度は学校訪問や中学校への説明会などいろいろな機会を設け、全職員が説明する、或いは何らかの形で係わる予定である。

・先日もリクルートの取材を受けた。そのときに取材の人たちが非常に驚かれた。一般の職員がみな同じ事を言う。生徒も同じ事を語る。また今日も茨城県の高校の学校訪問を受けた。この訪問でも管理職だけでなく一般の先生に対応してもらった。自分の言葉にして語れることが学校の力であり、実践力になると考えている。中学校にも校長だけでなく、若い先生に行ってもらうようにしたい。

・プログラムにのらないものでもできることを協力したい。貢献できることは地域にもどんどんしていきたい。中学生講座はもちろんだが、中学校に対して力になれることがあれば、どの学校でも行く。待っているのではなく、我々から考えていきたい。

・全国大会何人出場という目標は難しいかもしれないが、部活動加入率を目標にはできるのではないか。

か。また、倉吉東高は、ボランティアや特色ある活動も多く取り組まれている。地域からの信頼向上という部分にもそれらを活かして目指す姿や現状も盛り込んでほしい。息子も運動部に入部しており、忙しく時間のない中で学習も部活動も取り組んでいる。授業で勝負するという部分、期待したい。

・学力＝生活力という進路指導、まさにそのとおり。失敗をおそれず取り組んでほしい。専攻科の学び祭りだが、自分の夢をプレゼンしたり言葉にすることは大切だと思う。今、大企業に就職するのは難しくなっている。しかし、あえて中小の零細企業に自分が入って発展させるというような気概を持った生徒の育成、指導をしてもらえばよいと感じている。

・校長先生の考えておられることがうまく浸透しているか、どの先生も同じ方向にむかっているかで目標としている生徒が育つ。企業で環境ISOに取り組んでいるが、これは末端の人まで理解して動かないと資格がとれない。お客さんが来られるたびに全ての先生が対応していくということは、個々の先生にも自信を持たせることができる。

・部活動することで粘り強く頑張れる生徒育成を目指している。部活動と学習をきちんと切り替え、時間を有効に使っていきけるように各顧問も指導していく。

・2年生は約95%の加入率である。1年の終わりにやめた生徒がいるが、望ましいことではない。総体後は中心となってやっていく意識で活動している。担任の立場、顧問の立場、それぞれの立場で生徒に同じことをいうことによって生徒が安定する。大学合格者の中で3年間部活動しきった生徒がどのくらいいるのか、具体的数字をあげて生徒指導していく。

・だんだん家庭が手伝いをさせなくなった。負担を取り除いてよい子が育つわけでなく、むしろ2つや3つのことを同時にさせながら育てるのが望ましい。最近は何と何とにやってほのほのポジションを確保すればよいという風潮が強い。チャレンジし、苦労を自ら買うような生徒を育てたい。

・授業を聞き、答案を書くだけでなく、アウトプットする生徒を育成する。高校生フォーラムでは自ら問いをたてそれに取り組んで行く生徒を育成している。まさしく今言われたことを行っていきたい。

・今日の学校訪問でも10人くらいの教員が対応した。次々と教員がでてくるのでびっくりしておられた。これは、本校の強みだ。もっと強くしていきたい。

・生徒指導、学力育成など3年生はだんだんとよくなってきた。教室開放も今年は4月に始めた。意欲は昨年生徒に負けてはいない。学園祭に向けてリーダーシップも発揮しており、非常に頼もしい。21世紀のリーダーになっていくと感じている。

・1年生。オリテン合宿では集団を意識させた。徹底して伝えたのは、「先を見据えた行動」「学習習慣」「集団の中での行動」の3つ。素直な生徒が多くきちんと理解してくれた。欠席・遅刻もほとんどなく、落

<p>(3) 評価基準及び評価指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し <p>3. 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期ビジョンの21世紀の日本を支え、世界をリードする高い志を持つことは、鳥取県でもどこでもできるということを説明してほしい。ぜひ、鳥取県も視野に入れるよう伝えてほしい。 	<p>ち着いた生活態度である。一方素直さと共存しているのが幼さで、家族の送迎で無遅刻の可能性もあり、自立してほしいと思っている。また、学習習慣が定着しておらず、部活と勉強の両立の壁にぶつかっているようなのでサポートしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制生徒は様々な問題を抱えた生徒がいるが、卒業後専門学校で頑張っているという報告もあり、地道に指導している。定時制を4年間と考えて入学してきた生徒が多い。努力をすれば、3年で卒業できるということを知ってびっくりした生徒もいたのでアピールしていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな成長、発見ができた会であった。説明すればいくらかでも説明ができる内容が本校にはある。今後はそれを地域の方に理解していただくのが課題である。いっしょに課題を共有することでスタートしたい。これからも忌憚のない意見を伺いたい。
---	---